

平成 27 年度



みさと教育委員会だより

第 1 号

平成 27 年 9 月 18 日発行



今年北京で世界陸上競技選手権大会が開催されました。世界の素晴らしい選手の映像に刺激を受けた若者も多かったことでしょう。

各小学校、中学校も運動会や体育祭では元気な力強い姿が見られました。

スポーツの秋、芸術の秋、学びの秋、食欲の秋と体も心も成長する季節に向かっていきます。健康に留意しながら一段と大きくなってほしいものです。

◆【美郷町教育委員会】

美郷町教育委員会は5人の委員で構成され、毎月1回定例会を開催しています。7月には学校、公民館、給食センターの訪問を行いました。学校では電子黒板を活用した、わかりやすい学習の様子や専任サポーターの配置で充実した指導が行われている様子、今年から始まった通級指導教室の様子などを見ることができました。

公民館では、生涯学習の状況や地域と子どもがつながっていく活動の様子を聞くことができました。

◆美郷町教育委員の紹介

委員長 林 朋宏

委員 (委員長職務代理者)

キキョウ

田邊 積

委員 竹下 尚子

委員 日高 美智子

教育長 田邊 哲也



電子黒板を活用した学習の様子
教科書のページや、参考資料を映し
出して活用しています。



専任サポーターの配置で
丁寧な指導が行われてい
ます。



今年度から邑智小学校内
に通級指導教室が開設さ
れています。



秋の七草見つけてみませんか！

あちこちの道端に咲いています。

文化財係からのお知らせ

中原芳煙展を開催します。

～ 早世した天才画家の思い ～

今から百四十年前、明治九年、美郷町潮村に誕生した中原芳煙（本名・佐次郎）。幼いころから絵を描く事を好んだ芳煙は、石見学校（現在の浜田高校）から東京美術学校に進み、その才能を開花、将来を期待されるも、病に倒れ、三十九歳でこの世を去りました。今年度は没後百年の節目にあたり、その偉業をたたえ、展覧会を開催します。多数のご来場をお待ちしております。

■期間 平成27年10月31日（土）～ 11月6日（金）

■場所 みさと館3階多目的室

■会期中の催し

○10月31日（土） 10時～12時

基調講演「中原芳煙の生涯と作品（仮）」

講師・加納美術館館長 神 英雄

○10月31日（土） 14時～

ギャラリートーク「作品解説」（予定）

講師・加納美術館館長 神 英雄

○11月3日（祝） 10時～15時

生家「中原家公開」

（潮公民館にてお茶席開設）

美郷町立図書館 みさと本の森 新刊のご案内

新しい本、話題の本、ぞくぞくと図書館に入っております！
今日はその中の3冊をちょっとだけご紹介します！

『ラプラスの魔女』

著者：東野 圭吾

元警官の武尾はある女性のボディガードを請け負う事となる。遠い地で同時に起きた死亡事故は彼女の起こした奇跡によるものなのか？

『レインツリーの国』

著者：有川 浩

一冊の本を通してメールをやりとりする伸行と利香。会いたいと望む伸行を拒まなければいけない理由が利香に

『鹿の王 上・下』

著者：上橋 菜穂子

大敗した反乱軍の頭であるヴァンは、奇妙な病に端を発してこの世の運命と向き合うことになる。鹿の王とは哀れなもの、果たしてヴァンは…

学校給食

野菜とお米は地元産

地元産使用率
○野菜

平成24年度	35%
平成25年度	41%
平成26年度	49%
○お米	100%

地元産の野菜使用率約50%と年々高くなってきた美郷町の学校給食。

生産者のご協力をいただき、新鮮な野菜を使うことで栄養価が高く美味しく食べることができます。

給食費の自己負担は、一食あたり小学生二百円・中学生二百二十円で食材費の30%を町が助成しています。地産地消で「食」に関する知識や食を選ぶ力を育てています

おいしいよ！



くず

オミナエシ





美郷町がすすめる ICT を活用した教育について

美郷町は本年度から本格的に ICT 機器を導入しました。ICT とは、インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー (Information and Communication Technology) の略で、日本語では情報通信技術と訳されます。これまで使われてきたパソコンやテレビなどもこの仲間です。

では、美郷町がこのたび導入した ICT 機器とは何でしょうか？ ICT 機器を使ってどんなことができるのでしょうか？何をねらっているのでしょうか？これらについてご説明いたします。

Q1 ICT 機器って何？

今回、導入した ICT 機器は小学校 4 年生～中学校 3 年生までの全ての児童生徒に一人 1 台のタブレット型端末 (iPad) と各教室に電子黒板、それらをネットワークでつなぐ無線通信環境です。タブレット型端末、電子黒板、無線通信環境の 3 つを整えることで、子ども達が持っているタブレット型端末をインターネットに接続したり、タブレット型端末と電子黒板とでデータのやりとりをしたりすることが可能になります。

Q2 ICT 機器を使ってどんなことができるの？

ICT 機器を使うことによって大きく 4 つのことができると考えています。

① 情報を集める。

例えば、インターネットを使って調べたり、写真や動画を記録したりするなど、必要な情報を集めることができます。

② 情報をまとめる。

調べた情報や記録した写真などを自分にとって必要なかたちにまとめることができます。

③ 自分から発信する。

自分が調べたり、まとめた事柄について、電子黒板を使ったり、インターネットを使って発信することができます。一人一人の子ども達が自分の考えを手軽に発表することができるメリットがあります。

④ 自分で繰り返し学習をすすめる。

ドリル学習のように繰り返し取り組むことで、力がつく学習もあります。ICT 機器を使うことで子ども達の意欲を高め、自分からすすんで学習に取り組めるようになります。



机の上には筆箱・プリントと iPad

Q3 導入したねらいは何？

これまでの学力では、知識の量 (どれだけ内容を記憶しているのか) が大切とされてきましたが、近年、特に知識や情報を活用して自分なりの考えを持ち、表現する力が大切であると言われるようになってきました。最近では全国学力調査でもそのような問題が多く出題されるようになり、近々高校入試や大学入試のあり方も大きく変わると言われています。そのような時代の中、美郷町では、子ども達の思考力・判断力・表現力の育成のため積極的に ICT 機器を導入しました。

Q4 ICT 機器導入以外の取り組みは？

これらの機器を使った授業は全国的にも始まったばかりで、有効的な使い方等について先生方も慣れていません。そこで、教育委員会では専門の ICT 支援員を委託し、各学校へ派遣したり、研修会を開催したりしています。

また、美郷町は今年度、文部科学省から先進的な取組を行っている「ICT を活用した教育推進自治体」(全国 30 自治体) のひとつに選ばれ、全国の自治体に先駆けた取組を行っています。

美郷町教育委員会では ICT を積極的に活用することで、先生と子ども達や子ども達同士が、よりつながりを深めて、意欲的に学習できるように支援していきたいと考えています。



なでしこ

つながりが創る豊かな家庭教育

核家族化や少子化等の進行により、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少したり、他の保護者・地域とのつながりが変化したりするなど、家庭教育を支える環境が大きく変化しています。島根県政世論調査によれば「地域の親同士の交流などの視点において、子育てしやすい環境である」と捉えている親の割合は半分にとどまっています。（ここ美郷町ではいかがでしょうか？）

このような中、現代の子どもの育ちをめぐる問題はますます複雑化・困難化しています。これを「親の育て方が悪いからだ！」とする向きもありますが、実際には最初に述べたような背景から「家庭教育が困難な社会になっている」というのが本当の理由です。

そこで、島根県では、親同士が楽しく語り合いながら、子育てについての気づきを得たり、親同士のつながりをつくったりすること



をねらいとした「親学プログラム」が作成され、県内各地で実施されています。本町でも昨年度は大和小学校で、今年度は邑智中学校で実施されました。邑智中学校での感想をいくつか紹介します。

- 自分の子育てや仕事の中で悩んでいたことが少し解消された気がします。
- 子育てやしつけに悩むのは当然で、それを解決する一番の方法は親同士、あるいは夫婦で話し合うことだと感じました。
- 男親の場合、こういう機会でもない限り、親のしつけについて話し合うようなことがないため、こういった研修を通じて、いろいろな保護者と話ができ、非常に有意義だった。

「親学プログラム」には「しつけ」や「生活リズム」、「家庭学習」や「将来の夢」など、様々なテーマの26のプログラムがあります。また、今年度、新たに「いじめ」や「児童虐待」といった社会問題に対応したプログラムも開発されています。

「親学プログラム」は短いものでは30分程度の時間で実施可能です（参加者が打ち解けるためには一時間あるとなお良いですが…）。また、保護者だけではなく、子どもにかかわる地域の方々への研修にも活用できます。

PTAの研修会や地域の学習会等で「親学プログラム」を活用してみたいと思われる方は、お気軽に教育委員会までお問い合わせください。



放課後児童クラブは、昨年度まで「いつでも道場」（邑智小）、「まほろばわくわく教室」（大和小）の2ヶ所で開設していました。今年度より社会福祉法人敬愛福祉会のご協力を得て「やすらぎの里」（邑智小学校区別府地域）を新たに開設することができました。地域の方たちが支援スタッフとして関わってくださり、とても温かい環境づくりや言葉かけをして下さっています。

* 放課後児童クラブ *

夏休みには、邑智中の生徒9名がボランティアスタッフとして手伝ってくれました。いつでも道場の先輩として、優しく頼もしい姿が見られました。また、活動を通して、いつでも道場の改善点など、気づいたことをたくさん伝えてくれました。生徒の皆さんからの提案を、これからの運営に活かしていきたいと思えます。今後、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

美郷町の児童・生徒数 (平成27年9月1日現在)	
邑智小学校	191名
大和小学校	63名
邑智中学校	67名
大和中学校	27名



ハギ